

2020年10月24日

株式会社 GT アソシエーション

FIA-F4 事務局

FIA-F4 選手権 第4戦 決勝上位コメント

■ 第4戦 決勝1位 平良 響【#35 TGR-DC RS トムススピリット F4】



「スタートもうまく決まり、トップに立ってリードを広げていくことができたのですが、アクシデントでセーフティカーが導入されて、リードがなくなってしまいました。最初はがっかりしたのですが、それでも気を取り直してリスタート後も全周、攻めて走ってリードを広げていくことができたので良かったです。ペストラップでは2番手で、3戦連続のポールは奪えなかったのですが、それでもフロントロウからのスタートなので、優勝も狙っていけると思っています。でも、まずは今日の夕方行われる第4戦。ポールスタートなので、鈴鹿で3連勝するためにも、必ず勝ちたいと思っています」

■ 第4戦 決勝2位 荒川 麟【#14 ZAP SPEED スカラシップ】



「今大会は持ち込みのセットも良くて、走り始めとなった木曜のトレーニングでもトップタイムをマークしていました。でも、このレースではスタートでちょっとミスしてしまい、太田選手（No.7 VEGAPLUS DOME F110/太田格之進）に先行されてしまいました。自分自身ではペースが良いのは分かっていたのですが、太田選手を抜き返すのに手間取ってしまい、本来なら勝てるレースを2位で終えてしまいました。それでもレース中のペストラップはトップだったので、明日の第6戦はポールからスタートすることになりました。今日の第5戦も2列目スタートなので、残り2戦とも勝つつもりでがんばります」

■ 第4戦 決勝3位 野中誠太【#36 TGR-DC RS トムススピリット F4】



「このレースは7番手からのスタートでしたが、出遅れたクルマがあって混乱している中をうまく切り抜けてジャンプアップできました。その後もアグレッシブに走りましたが、ちょっとアグレッシブ過ぎたかもしれませんね。それでも表彰台を確保できたので、最低限の目標は達成できたと思います。それでもトップ2台とはペースに差があり、じわじわ離されてしまいました。今日の夕方と明日の午前、残された2レースでは、何とかこの差を詰めていきたいと思っています」

■ 第4戦 インディペンデントカップ1位 佐藤セルゲイビッチ

【#3 結婚の学校 フィールドモータースポーツ】



「今日はスタートがすべて、でした。（クラスの）上位の2台を抜いて、斎藤選手（No.96 CS Marketing AKILAND/齋藤真紀雄）に続いてクラス2番手で1コーナーにアプローチすることができましたからね。朝一番の予選では赤旗が出る前も、セッションが再開された後も、クリアラップをとることができなくて後方に沈んでしまいましたが、自分のペースが速いことには自信を持っていたので、決勝では挽回しようと思っていました。富士では2位、2位、4位でポイントもあまり多く獲ることができなかったのですが、今回の鈴鹿では、ぜひとも3連勝を飾ってポイントランキングでトップに立って、連続チャンピオンを目指したいですね」